

# シン破天荒

## 山崎編



保護者にも見せてくださいね

師走を迎えて  
令和七年を走り切る  
一月にしよう

山崎高等学校八十回生も、本校で初めての冬シーズンを迎えます。生徒の皆さんの方が私たちよりも慣れているかもしれませんが、気象条件としての暑さ、寒さもありますが、本校での最初の一年のうち、三分の二が終わろうとする今こそ、

寒さに負けず 風にも負けず

時には雪にも負けず

丈夫な体を持ち 欲は無く

決して臆みからず 何を為す

さすれば

為せば成る

有名著書の一節や、名文句を活用させていただき  
ました。

いついかなるときにも活かせる活字が、私たちの  
側にはあることを幸せに思います。

この機会に、ぜひ次の言葉に触れてください。  
それは、

不易流行

英語では

Fashion and Tradition

です。(だと思っているのですが・・・)  
大事にしたいことは万国共通ですね。

先月の  
「気になったこと」

先月の、「朝の四階窓開け」をしている際に、気にな  
ったことがいくつかあるので、お伝えします。  
これは皆さん以上に、保護者にもお知りおき頂き  
たいことです。だからだした紹介はピントがぼける  
ので、簡条書きで紹介します。

・個人ロッカーの扉が閉まらないくらい詰め込ま  
れたロッカー。何を突っ込んでいるのか

・まるで大きなごみ箱のような、教室のベランダ  
そこに貼りついたチューインガム

・使用後の体操服が朝に？

・採点された小テストがゴミ箱や廊下に。見るに  
堪えない得点のものが多く・・・

採点して頂いている先生の目には触れないよう  
にそつと持ち帰り・・・

一方先月の  
「微笑ましかつたこと」

・毎朝、時を同じくして登校し、机に載せてある  
椅子を、皆の分すべておろしてくれている生徒。  
ときには、遅くなった私とともに窓開けの手伝  
いも。

・これは先月に限ったことではないですが、毎朝  
窓開けとともに廊下のモップ掛けをされている  
他学年の先生

・これも先月に限ったことではないですが、昇降  
口を始め、これだけ広い敷地の扉という扉を開  
けて下さり、草刈りやごみ箱の整頓、清掃をし  
てくださる技能員さん

当たり前でない「当たり前」を、皆さんのために  
してくださっている方がいることを理解して、日々  
の生活を過ごしてほしいものだと思わずにはいら  
れません。

森と食料  
国有林見学実習

十一月四日火曜日に、八十回生森と食料が国有林  
見学実習に行きました。ちょうど、森と食料も次年  
度に向けて選択希望調査をしているタイミングです  
が、自身の進路選択の一役になればと思います。

生徒たちの感想を、  
以下に示します。

先代スギはこれ





国有林の見学をして思ったことは、天然林は木の幹がとても太くてびっくりました。

また、波賀町では四割が国有林と知りました。ツリーシェルターでは小さな苗木もみられて、鹿の食害防止のための対策がしっかりとられていて、森林を守っていくのも私たちが思っている以上に大変なことだと思いました。

(女子)

樹木などの円周を測るために、「直径巻尺」というものがあるということが初めて知れて良かったです。スギの木は、建材として利用できるまで五十年程かかるのには驚きました。

ツリーシェルターは、風、強光、雪、動物などの環境から植栽した苗木を保護するためにあることが分かりました。

(男子)



波賀にある赤西国有林に行って、兵庫の国有林の面積のことや、そこに生えている木を観察して、この国有林にはどんな特徴があるのか学びました。一番印象に残っているのは先代スギです。そのスギは四百年もかけてその場所ですべていることにもびっくりしたし、その大きさにも驚きました。ツリーシェルターというものを初めて知って、鹿が与える影響の大きさを感じました。

(女子)

国有林の見学をして一番印象に残ったのは、先代スギです。何年経てばこんなに大きくなるのか気になりました。

もう一つは気温にも感じるものがありました。普段私が生活しているところよりも寒かったです。でも、空気が綺麗でマイナスイオンが心地良かったです。

ここで学んだことを、実習の時に活かせるように頭に入れておきます。

(女子)



十一月五日水曜日六時間目のロングホームルームの時間に、学年レクでドッジボール大会を実施しました。

楽しそうな顔を見ることができたのは嬉しいことです。しんどい決めつけず、少し自分に強くなる、そんな高校生活を過ごしてもらいたいものです。なお、結果は以下になりました。

男子

第一位 三組

第二位 一組

女子

第一位 二組

同じく

第一位 三組

男女総合優勝 三組

でした。他のクラスも含めて、またの機会に頑張りましょう。

開会式



熱戦の様子



表彰式

大きな袋や箱は得？  
(日本昔話))





## 芸術鑑賞会 今年は落語

十一月は行事も盛りたくさんで、十二日水曜日に山崎文化会館において令和七年度芸術鑑賞会が開催されました。

今年は落語で、八十回生も五名の生徒が落語体験の機会を得ました。

まず一人目が、「何かを食べているように魅せること」を求められ、「ラーメン」を食べている様子を演じました。二人目は、「一人目とは違う何かを食べる様子」を求められ、「ステーキ」を食べる様子を演じました。続いて三人目は、「何かをしている」様子を演じることを求められ、野球部員が素振りをしている姿を演じました。

それぞれその内容は、観衆に伝わるものでありま



した。(最<sup>ひい</sup>目ではないですよ！)

残り二人は噺家さんから与えられた課題を演じることになりました。

一人目は、「酒を飲む酔っ払い」になり切って最後に「ふざけんな」の一言を発する課題を頂きました。なかなか上手に演じられ、特に最後の「ふざけんな」は、迫真に迫る「心の声」だったのかもしれない。

最後の一人は、落語の中で噺家さんが演じている「上手に麵を食べているようにみせる」要領を教わりました。

五者五様、個性のある姿を見せてくれました。良い空気抜きになったのでは。

因みに、英語落語の身分は分かりましたか。私は、今は亡き桂雀々師匠が日本語で演じられていた姿を桂福丸師匠に重ねてしまいました。

生徒の多くは、その後のダンサー「マイケル」のインパクトが一番だったかもしれません。ただ、演者が「なんと反応が良い、やりやすい」という言葉掛けをくださったことは、「山高生」にとつては良い芸術鑑賞会となったのではないのでしょうか。

なお、謝辞も文化委員長（二年五組）が、学校を代表して述べました。

改めて、体験者の皆さんご苦勞様でした。そして、出演者の皆様、

ありがとう！

マイケル



以下、生徒の感想です。

落語を観るのは初めてではないのですが、まだ小さいときに観ていたものもあって、その頃はまだ面白さが分かっていたかもしれません。ですが、今回観た落語は、どんなところが面白く楽しいかわかることができました。

一番印象に残っているのは、うどんの話でした。とても楽しかったです。

（二組男子）

芸術鑑賞会の落語とか、マイケルジャクソン？

面白かったし、楽しかったです。落語を体験するの

もめっちゃ緊張しました。手とか震えていました。でも、実際に演じてみて、意外に楽しかったです。マイケルジャクソンさんのダンスは、めっちゃすごかったです。

（二組女子）

今日はとても良い時間だったと思います。落語もオチが分かりやすく、表現の仕方が上手で、本当に登場人物がいるみたいでした。

英語落語は簡単な英語ばかりだったので、私でも理解できて楽しかったです。

最後に、マイケルジャクソンさんです。大変似ていたし、ダンスが独学という話に驚きました。

人を楽しませるのが、二人ともとても上手で、私もあんな風になりたいと思いました。

（三組男子）

今日落語を聞いてみてとても面白かったです。普段はあまり身近にないものだったけれど、聞いてみるととても面白かったり興味深かったもので、舞台を観に行ってみたいと思いました。

また、小噺というとても短い落語があることも初めて知ることができたり、お囃子を流さずにその場で弾いているところもすごいなと思いました。

マイケルジャクソンさんのパフォーマンスはとてもすごかったし、面白いところもあってとても格好良かったです。もっと日本の伝統を知りたいと思いました。

（四組女子）

今回初めて落語を鑑賞しましたが、言葉遊びの魅力に気付くことができました。そして落語家さん達の演技力にも引き込まれました。

マイケルジャクソンさんのパフォーマンスも息をのむほど凄くて圧巻でした。彼がおっしゃった通り、好きなことを貫ける、格好いい大人になりたいです。今日は貴重な体験ができて本当に良かったです。

（五組女子）

## 進路ガイダンス

十一月は大変たくさんさんの行事がありました。その一つに、「進路ガイダンス」が十一日火曜日七時間目に実施されました。

参加生徒は、教育類型生を中心に他のクラスからも参加しました。

この日は、本校ホームページ内のブログにもあるように、総合的な探究の授業で神戸学院大学生との連携授業に関わっている班が、宍粟市役所にて中間発表を行ったため、参加希望者が重複したことで、こちらのガイダンスには参加できなかったのは残念でしたが、教員への希望を高めてもらうための講演をして頂けました。

願わくは地元宍粟市のために是非「教員」として凱旋してくれることを祈るばかりです。

なお、連携授業の中間発表については、最終発表の機会に紹介します。

## NIE講演会実施

続いて、翌週十八日火曜日七時間目には、NIE推進協議会より網麻子様にお越しいただき、講演をしていただきました。

皆さんの目に触れるように、各階廊下で日々更新されている新聞の果たす役割、重要性を理解して、「読む」力、「考える」労力を育む姿が、私たち教員の目に触れることを期待したいものです。

最後の質疑の際に、若干「頓珍漢」な質問もありましたが、人前で「言葉を発する」勇気を、「自分を成長させる」ための、誰からも応援してもらえる行動で返ってくることを、今回の講演会の成果として私たちは待っています。



## 学年集会 十一月十九日

十一月十九日水曜日六時間目ロングホームルームの時間に学年集会を行いました。

その内容は、一年五組担任の長生先生が二期期末考後に産休に入られること、後任の担任に総務部から石田先生をお迎えすることになったことを、八十回生の生徒たちに連絡をしました。

まだ一か月ほど時間がありますが、石田先生には八十回生との時間を共有して頂いて、チーム八十回生の力になってもらおうと思います。今まで授業には来てもらっていない分、皆さんの姿を「俯瞰的」に眺めてもらえと思っています。

皆さんの良さが鍛えられ、本来の持つべき力が発揮されるよう、自らを磨く努力に繋がる機会にしてください。

なお、本校での長生先生との時間は徐々に少なくなりませんが、長生先生にも、胎児にも、皆さんの思い出は「かけがえのない」ものとなります。最後まで、これからも、良い思い出を積み重ねることができるよう、一日一日を大切にしましょう。

(予告)

次号で、長生先生と石田先生からのメッセージを頂く予定です。





## この一字 十二月編

入 学 時	五 月	六 月	七 月	一 学 期 末	二 学 期 始	十 月	十 一 月	十 二 月
『縁』	『探』	『声』	『触』	『律』	『笑』	『育』	『強』	『感』

入学して半年が過ぎ、まもなく一年間の三分の二が終わろうとしています。  
気付けば、皆さんは皆さんの目に映っていた姿を  
目指しているのでしょうか。

毎日がただ何となく過ぎて、目の前にあることを  
ただ何となく「楽しい」と勘違いし、振り返ってみ  
ると「自分は何してるん？」と感ずることがあつて  
ほしいものです。

人は成長する動物のほうです。ただそのためには  
「良くも」、「悪くも」、肌で、心で感ずることが一番  
大切です。

皆さん、どうか自らの心を揺り動かすことを大切  
にしてください。そのために、物事を「感ずる」心  
を忘れないでください。

すべては

### 「自分の未来」

のために。

## 今月の出会い

本校赴任以来、どうしてもお会いしたかった方に  
十一月八日土曜日、ついにお会いすることができま  
した。

その方とは、本校卒業生で、しかも本校で教職を  
終えられた梶浦永人先生です。

梶浦先生とのご縁は、私が教員としての職に就き、  
陸上競技部の顧問として、兵庫県高体連陸上競技部  
の仕事をさせてもらって以来、さらに再び西播地区  
に戻るようになって以来、深くご縁を頂きました。

私の娘も梶浦先生の元でお世話になれると思った  
タイミングで、母校の山崎高等学校に転勤されたの  
は残念でしたが、入学前のたかが一日の出会いに、  
我が娘の脳裏にもすっかり焼き付いてしまう、大変  
魅力的な方でした。

近くにお住まいなのでいつか遭えると思いつながら、  
半年が過ぎ、近くて遠い存在になってしまいそうで  
したが、練習が終わって帰宅する偶然の出会いに、  
感謝感謝でした。

いい年をした大人二人が、学校のグラウンド沿い  
で、周りを気にすることなく大笑いし、学校の話を  
たくさん聞き、町や学校の行く末や、要望、期待を  
お聞きできたこと、それでも明るい梶浦節に触れる  
ことができたこと。本当に会いたかった人とただ話  
ができることが、こんなに人を幸せにすることを再  
認識できたことに感激しました。

将来、皆さんもそんな振り返りができるような人  
との出会いがあるように、自分への「感」度を敏感  
にしてほしいものです。

## 今月の出会い

### PART II

十一月は二度の三連休がありました。二度目の三  
連休は、山崎では「紅葉祭り」と遭いまみれました  
が、時を同じくしてこんな再会もありました。

私の亡き父、母と長く旧交のあった神奈川在住の  
ご夫婦のうち、おばさまが五月に亡くなられていま  
した。その報を知り、期末考査の折におじさまを訪  
ね、墓参りにも行かせてもらいました。僅かな時間  
を共有する中で、この縁をいつまで続けることがで  
きるのだろうかという不安と、この縁を一つ一つ大切  
にしたいという思いが交錯しました。

時が経ち、十一月二十二日、おじさまの息子さん  
夫婦が、わざわざ姫路に来訪し、再会をすることと  
なりました。振り返れば、再会はなんと

### 四十七年ぶり

別れが生んだ、新たな再会となりました。

記憶をたどり、いろんな懐かしい話をすることも  
できました。

新たな出会いが、おじさまとの旧き良き長い付き  
合いを継続でき、さらに新たな再会をできることを  
これからの励みにもなると思いました。

皆さんには関係のない話ではあるけれど、無関係  
と思う中に、いろんな学びもあったことを伝えるこ  
とができたらと思い、投稿しました。

# 十二月の予定

二 日 (火)	教育相談
四 (木) ～ 十日 (水)	期末考査
四 日 (木)	マラソン大会前健康診断
十 日 (水)	いじめアンケート 頭髪等検査
十一日 (木) ～ 二十三日 (火)	午前中授業 (一・二・五・六限)
十二日 (金)	教育相談 岡山大学訪問 (希望者)
十五日 (月)	LHR (内容は改めて)
十六日 (火)	防災避難訓練 防災体験活動
十七日 (木)	人権映画鑑賞会 (山崎文化会館)
十九日 (金)	教育相談
二十三日 (火)	大掃除
二十四日 (水)	終業式
二十六日 (金)	仕事納め



# 一月の予定

一 日 (木)	元旦
五 日 (月)	仕事始め
八 日 (木)	始業式
九 日 (金)	課題考査
十二日 (月)	成人の日
十四日 (水)	防災学習 (6限 同窓会館)
十六日 (火)	1・17 追悼行事 教育相談 二年 修学旅行 (～十九日まで) 三年 共通テスト激励会
十七日 (土)	スキー実習 (教育類型)
十七日 (土) ～ 十八日 (日)	共通テスト
二十二日 (木)	課題研究発表会 (森と食科)
二十三日 (金)	教育相談
二十四日 (土)	ベネッセ総合学力テスト 進路マップ
二十八日 (水)	学年進路行事 (五・六時間目)
三十一日 (土)	山高街の駅④



# 二〇二五年 最後の一个月

今年も最後の一个月。自分の人生の中でも一番の大きな出会いを果たした一年であったと思います。高校生活もあつという間にあと二年。何かを残すために高校生活があるのではなくて、何かをしたのが高校生活で、それを見るから「何か」が残った高校生活となります。

## 「何かを残せ」

とはいいません。

## 「残ったな」

と言わせてくださいね。

次号に向けて、八十回生からたくさんの材料がみられることを期待します。

